

XSOL (エクソル)

華為技術日本(ファーウェイ・ジャパン)

国内大手太陽光発電企業と世界通信大手がタッグ 『太陽光発電+ハイブリッド蓄電池』の 自家消費モデルを展開

国内大手太陽光発電企業エクソルと世界通信大手ファーウェイがタッグを組んだ『太陽光発電+ハイブリッド蓄電池』による自家消費モデルの販売が好調だ。住宅のゼロエネ化だけでなく脱炭素社会の構築に向け展開を加速させる。その秘策とは。

—これまでの事業展開と協業の経緯について、お聞かせください。

薄井氏 当社は01年の設立以来、住宅・産業用と太陽光普及に注力してきた年商200億円規模の「太陽光発電の総合企業」です。太陽光発電の普及促進により脱炭素社会を構築し、化石燃料がキッカケとなる諸問題の解決を使命とする事業理念「XSOLUTION(エクソソリューション)」を掲げています。

エクソル 取締役
薄井 陽一
商品本部長



コスト低減と共に安心・安全をお届けすることが最重要と考え、機器だけでなく施工をはじめとするすべての品質・クオリティにこだわり、設計・調達・建設・メンテナンスまで含めたワンストップソリューションに加え、太陽光発電の初期費用がゼロ円で設置できる第三者保有モデルといった関連事業全般を展開しています。

福田氏 当社は日常生活にもはやなくてはならないICT構築に必須の機器・ソリューションをグローバルで展開する通信事業者です。携帯端末を筆頭に基地局、データセンターなどあらゆる場面で皆さまの生活に貢献しています。87年に中国・深センで創業して以降、インターネットの普及と共に事業を拡大。売上規模は20年で約14兆円に到達。世界170カ国以上・約30億人が『HUAWEI』ブランドを使用いただいています。日本国内には05年に「通信事業者向けネットワーク」「法人向けICTソリューション」「コンシューマー向け端末」の3分野を柱に参画。部材調達先でもある日本へはGDPに対し1兆円以上の経済貢献を通しWin-Winの関係構築しています。

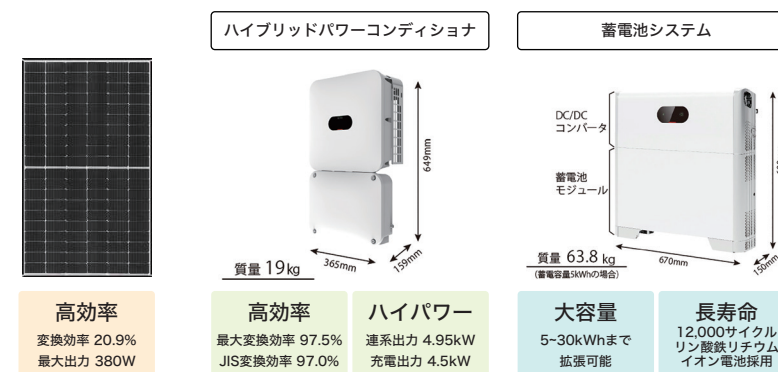
薄井氏 ファーウェイさんは今回、協

業で販売していく蓄電システムの前段として14年から日本国内で大型・産業用太陽光発電所向けパワーコンディショナーを上市されてきました。段階を追って販路やサポート体制も構築され、また、高品質・信頼性・コストパフォーマンスの高さにより関連製品は瞬く間に浸透。20年の実績はグローバルで40GW以上、国内では約1.3GWと日本市場シェアの約3割を獲得されています。これまで当社が製品を取り扱う中でも不具合が生じたことは殆どなく壊れない、故障率が格段に低いという点が大きな特徴としてあります。当社では産業用に参画された頃から協業関係を築いています。

—展開されている蓄電池はどのようなものですか？

薄井氏 政府による『2050年カーボンニュートラル宣言』以降、脱炭素社会の構築に向けた急激な流れが押し寄せています。他方、住宅だけでなくあらゆる建築物、地域のゼロエネ化を進めていく時間は限られています。ここで重要になるのが太陽光発電による創エネに加え、系統安定化、VPP連携、地域マイ

▶ 奥行き15cmのコンパクトサイズで置き場所に困らない！



高効率
変換効率 20.9%
最大出力 380W

高効率
最大変換効率 97.5%
JIS変換効率 97.0%

ハイパワー
連系出力 4.95kW
充電出力 4.5kW

大容量
5~30kWhまで
拡張可能

長寿命
12,000サイクル
リン酸鉄リチウム
イオン電池採用

【蓄電池システム(5kWh)で使える電気製品の例】

電気製品	使用時間	使用電力
冷蔵庫 (450L)	24時間	1,140Wh
LED照明 (8畳)	12時間	322Wh
液晶テレビ (49型)	2.5時間	432Wh
電子レンジ (500W)	5分	109Wh
炊飯器 (5.5合)	40分 (1回)	222Wh
エアコン (8畳用)	2.5時間	1,811Wh
スマホ充電 (4台)	4時間 (1台1時間)	11Wh
ノートパソコン	12時間	720Wh

※5kWhの蓄電池システムを設置した場合の例。電気製品によって使用時間は異なり、すべての電気製品を同時に使用できるということではない。

▶ まずは太陽光発電システムだけ、蓄電池は後から増設も



クログリッドの構築といった次世代インフラを見越したエネルギーの使い方・設計です。従来型のZEH/ZEB化ではなく分散型の自家消費という考え方を組み込んでいく必要があります。災害時のレジリエンス性も高まり、ニューノーマルな環境も構築できます。そこで鍵となるのが蓄電システムであり、点が線となり面となっていくイメージです。とはいえ、蓄電池を含めた自家消費システムはまだコストが高く、導入には大きな費用負担となってしまいます。そこで今回展開するシステムは、当社がこれまで培ってきた購買力やノウハウを活かし極力コストを抑えたものとなります。この点に関してはファーウェイさんとの協業関係が欠かせないものとなっています。

福田氏 蓄電システムに関しては、安全性の高い電池セルを採用したコンパクトなモジュラー型で5kWhを組合せ最大30kWhまで対応します。パソコンにはAFCI機能を搭載。0.5秒以内にアーク放電を止め火災事故を未然に防ぐなど「安全・安心・長寿命」であり『今までにない』をコンセプトにしています。まずは太陽光発電システムだけ、蓄電池は後からといった設置方法も可能です。住宅事業者、販売店の皆さまを含め業界全体のご期待に添える商品として自信を持って供給に臨みたいと考えています。また既に産業用向けのソリューションも開発段階にあり、蓄電関連として今回は第一弾ということになります。再エネ普及や脱炭素社会の構築に向け両者

で市場を盛り上げていきたいと思っています。

華為技術日本
デジタルパワー事業部
第二営業部
福田 繁穂
シニアアカウント
マネージャー

